

# 景気ウォッチャー調査

平成12年4月調査結果

平成12年5月19日

経済企画庁調査局

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査の範囲

#### (1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

#### (2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

### 3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

### 4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

### 5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	財団法人 日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道 株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東 北 財団法人 東北開発研究センター
	関 東 財団法人 日本経済研究所
	東 海 株式会社 東海総合研究所
	近 畿 株式会社 大和銀総合研究所
	九 州 財団法人 九州経済調査協会

### 6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	100人	100.0%	東海	100人	98人	98.0%
東北	100人	97人	97.0%	近畿	100人	93人	93.0%
関東	100人	97人	97.0%	九州	100人	90人	90.0%
				全国	600人	575人	95.8%

## 目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	12
(1) 全国の動向	12
(2) 各地域の動向	12
(3) 景気の先行きに対する判断理由	13
(参考) 現在の景気水準に対する判断	21
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	22

### 利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

### DIの算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、DIを算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

## 概 要

### 1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I  
(D I) 平成12年

	2月	3月	4月
合計	48.6	55.2	55.2
家計動向関連	47.0	53.3	52.9
企業動向関連	49.1	57.0	59.4
雇用関連	60.7	66.7	65.0

図表B 各地域における景気の現状判断D I  
(D I) 平成12年

	2月	3月	4月
全国	48.6	55.2	55.2
北海道	47.0	51.5	44.0
東北	46.8	54.1	56.2
関東	47.0	53.8	55.7
東海	53.8	59.8	58.2
近畿	48.2	53.1	58.1
九州	48.7	58.7	59.7

### 2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I  
(D I) 平成12年

	2月	3月	4月
合計	54.6	54.9	55.5
家計動向関連	53.2	53.8	53.5
企業動向関連	55.8	53.8	58.5
雇用関連	62.8	67.2	66.1

図表D 各地域における景気の先行き判断D I  
(D I) 平成12年

	2月	3月	4月
全国	54.6	54.9	55.5
北海道	53.5	52.0	46.0
東北	56.0	54.6	57.2
関東	53.5	52.5	57.2
東海	54.1	60.3	59.7
近畿	54.7	54.4	57.5
九州	55.5	55.3	55.6

## 1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

### (1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	45.3	48.6	55.2	55.2		
家計動向関連	43.4	47.0	53.3	52.9		
小売関連	42.7	48.1	51.9	51.2		
飲食関連	44.0	40.8	54.3	48.3		
サービス関連	44.3	47.3	55.1	57.0		
企業動向関連	45.8	49.1	57.0	59.4		
雇用関連	58.9	60.7	66.7	65.0		

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

### (2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I (各分野計)

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	45.3	48.6	55.2	55.2		
北海道	45.3	47.0	51.5	44.0		
東北	42.3	46.8	54.1	56.2		
関東		47.0	53.8	55.7		
東海	51.8	53.8	59.8	58.2		
近畿	43.3	48.2	53.1	58.1		
九州	42.9	48.7	58.7	59.7		

地域別の景気の現状判断D I (家計動向関連)

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	43.4	47.0	53.3	52.9		
北海道	43.4	46.1	50.3	40.3		
東北	39.0	44.9	52.5	54.6		
関東		46.6	51.5	55.1		
東海	50.7	51.4	57.5	54.9		
近畿	41.7	46.5	52.3	56.7		
九州	41.2	46.4	55.6	56.8		

### (3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

#### 北海道

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	百貨店(売場主任)	・春物、夏物ともに良く売れている。
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・新入学ギフトの売上は減少しているが、バーゲンの効果により、婦人服、服飾雑貨、紳士服、子供服各部門で客数、売上ともに増加している。
		スーパー(店長)	・生鮮食品を中心に、食品全体の動きが活発になってきている。
		家電量販店(店長)	・冷蔵庫、エアコンの立ち上がりが高く、パソコンの売上も増加している。
		旅行代理店(従業員)	・3月に大きな需要の波があったが、その需要が持続している。
		住宅販売会社(従業員)	・モデルハウスの来場者数がやや増加してきている。
	変わらない	スーパー(企画担当)	・気温上昇につれ春物衣料や食品に対する反応が良くなってはいるが、買い控え傾向は依然として強く、客単価が低迷した状態が続いている。
		スーパー(店長)	・購入する商品の単価は下がっているが、購入数量がやや増加しており、全体としてみると売上は変わらない。
		衣料品専門店(店長)	・低価格帯の商品は売れるが、高額商品は売れないままである。
		家電量販店(店長)	・複数買いが少なく、単品買いが目立っている状態が続いている。
		家電量販店(店長)	・商品単価が依然として低い。必需品は売れるが、趣味で買うような商品は売行きが悪い。
		家電量販店(店員)	・パソコンは売れているが、売上全体でみると変化がない。
		乗用車販売店(従業員)	・依然として買い控えが続いているように感じる。商談はあるが契約に結びつかないことが多い。
		高級レストラン(スタッフ)	・有珠山噴火の影響は今のところなく、変わったところは見られない。
		タクシー運転手	・全体的に利用回数が少ない状態が続いている。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・安い商品ばかりが売れている。大型商品を購入する客に分割払いが増えている。
		百貨店(売場主任)	・以前よりまとめ買いが少なく、高額品も売れなくなっている。
		百貨店(売場主任)	・有珠山噴火の影響により、函館への観光客が半減している。
		スーパー(店長)	・客数は変わらないが、1人当たり単価は更に低下している。
		高級レストラン(スタッフ)	・有珠山噴火の影響による予約のキャンセル、官公庁における歓送迎会の自粛などにより、売上が全体的に減少している。
スナック(経営者)		・客数が減少している。特に平日の団体客が少ない。	
旅行代理店(従業員)		・4月に入ってから、来店客、電話申込ともに、急に落ち込んでいる。	
タクシー運転手		・有珠山噴火による観光客減少の影響を受けている。	
タクシー運転手		・日曜日の午前中の勤務で、2時間以上客を乗せない空白時間が多くなってきた。	
悪くなっている	商店街(代表者)	・売上の落ち込みが大きい。衣料品が特に悪い。	
	コンビニ(エリア担当)	・販売促進の効果がなくなり、客数が減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		高級レストラン(スタッフ)	・有珠山噴火の影響で観光客が激減している。予約キャンセルが多い。
		一般レストラン(スタッフ)	・団体客の数が極端に減少している。
		スナック(経営者)	・3か月前と比べ、人の出がかなり悪い。
		観光型ホテル(経営者)	・有珠山噴火により、洞爺湖は3月28日より休業で売上はゼロである。登別は風評被害のためキャンセルが続出している。
企業 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	広告代理店(従業員)	・不動産関係の広告の仕事が増えてきている。
		輸送業(支店長)	・道内製紙関連業に明るさが出てきている。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	・工場での生産は伸びているが、市場での物流が伸び悩んでいる。
		非製造業[建設機械リース](営業担当)	・良くなったという感じを受けない。
		司法書士	・土地取引に動きがみられており、一時期の不況は脱したように思われるが、全体的にみると変わらない。
やや悪くなっている	非製造業[建設機械リース](支店長)	・資金繰りが苦しいという客が多く、不渡りも出ている。	
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・正社員、派遣社員ともに需要が高まっている。
		求人情報誌制作会社(編集者)	・求人数が増加している。特に建設、運輸業界で伸びている。
		新聞社[求人広告](担当者)	・デパート、小売の広告出稿数が増加している。
	変わらない	新聞社[求人広告](担当者)	・求人数は増加しているが、正社員ではなく、パート、アルバイトが多い状態が続いている。
	やや悪くなっている		
悪くなっている			

## 東北

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	高級レストラン(スタッフ)	・法人客の予約が増加しており、個人客も、若いOL、学生、主婦などの客数が増加している。
	やや良くなっている	百貨店(企画担当)	・客が目的品のみの購買から、他の売場も回るようになってきている。
		百貨店(企画担当)	・単価の低下傾向が続いているため、売上の増加にはまだつながっていないものの、婦人衣料を中心に衣料関係の動きが良くなってきている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・単価は低下しているが、客数が増加している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・株主総会のためのホテル利用申込が、昨年のシーズンを上回って推移している。
		タクシー運転手	・最近、タクシーチケットを利用する客が増加している。
		住宅販売会社(経営者)	・住宅展示場の来場者数は変わらないが、具体的に住宅購入を考えている客が多くなっている。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・依然として必要な物しか買わない状況であり、消費者に余裕が感じられない。
百貨店(広報担当)		・ミセス関連や高額品、身の回り品などの販売は堅調であるが、リビング用品、紳士服関連などは苦戦しており、ばらつきがある。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		高級レストラン（スタッフ）	・客は値ごろ感のある商品に敏感に反応しており、客数は増えているが客単価は上がらず、売上増には結びついていない。
		観光型ホテル（経営者）	・団体客が目立ち始め、宴会回数や館内消費も増加してきたが、売上は横ばいとなっている。
		旅行代理店（従業員）	・個人需要は海外旅行を中心に増加しているが、法人需要は低水準で推移している。
	やや悪くなっている	スーパー（企画担当）	・スーパー各社とも、売上がかなり厳しい状態にあり、チラシの配布数が増加している。
		コンビニ（エリア担当）	・キャンペーンなど販売促進の効果がなくなっている。
		衣料品専門店（店長）	・目的購入以外の来店や先を見据えての来店が急に止まった。
	悪くなっている	スナック（経営者）	・客単価はほぼ横ばいであるが、常連客の来店数が減っており、売上が減少傾向にある。
		スーパー（従業員）	・売上、客数ともに減少している。
	企業動向関連	良くなっている	-
やや良くなっている		食料品製造業（従業員）	・行楽シーズンになっており、土産品の取引が増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・加工を主体とした協力工場は非常に忙しく、短納期対応が難しくなっている。
		輸送業〔航空貨物〕（従業員）	・航空貨物の取扱量が順調に推移している。
		経営コンサルタント	・受診企業の業績が少しずつ良くなってきている。
変わらない		食料品製造業（経営者）	・我々の地域では、企業収益の悪化傾向がまだ続いている。
		広告代理店（従業員）	・チラシの折込枚数がまだ少なく、広告宣伝の予算が上向きになっていない。
やや悪くなっている		食料品製造業（経営者）	・飲食店の売上にばらつきがあり、客単価も上昇していない。
悪くなっている		-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・人材の派遣依頼が増加している。
		人材派遣会社（社員）	・企業の求人意欲が回復基調にあり、求人に関する企業からの問い合わせが増加している。
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

## 関東

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店（売場主任）	・衣料品は苦戦しているが、服飾雑貨（ミュール等）のトレンド商品に関しては、非常に高い伸び率を示している。
		一般レストラン（経営者）	・ファミリー層が徐々に増えてきたので、客単価が上昇している。
		一般レストラン（スタッフ）	・宴会、プライダルなどの受注が多少増加している。
		旅行代理店（営業担当）	・3か月前に比べ、添乗に出る回数が増加している。 ・海外、国外ともに旅行の見積依頼が増加している。
		タクシー運転手	・外注関係の会社回りの客数が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	タクシー運転手	・客単価が上昇している。 ・客から景気の良い話を聞くようになった。
		その他サービス〔語学学校〕(営業担当)	・特に宣伝したわけではないが、4月から入校者数が増加している。特に小中学生の入学が多い。
		百貨店(買付担当)	・3か月前の1月は、セールにより買い控えのあった12月までと比べると来客数が多く、売上も好調であった。その時点と比較すると変わらない。
		百貨店(販売促進担当)	・気温が低かった3月の反動で、婦人服の売上は好調だが、紳士服は前年度比90%前後であり、相変わらず低調である。
		乗用車販売店(従業員)	・販売台数、売上単価とも、依然として横ばいが続いている。
		一般レストラン(支配人)	・3月は接待や歓送迎会で客数、客単価は増加傾向であったが、4月は軒並み前年度を下回り非常に苦しんでいる。
		都市型ホテル(営業担当)	・宴会の単価、件数ともに増加傾向にない。
		ゴルフ場(支配人)	・ゴールデンウィーク中のゴルフ場の予約が非常に悪く、低料金コースのみに予約が集中している。
	やや悪くなっている	スーパー(経営者)	・客数は減少していないが、新規出店や新しいショッピングセンターの影響により、客単価が10%ほど低下している。特に衣料品と食料品関係の売上が減少している。
悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている	その他企業〔情報サービス〕(従業員)	・コンピュータソフト開発の受注件数が伸びており、当社では対応しきれないほどである。
	やや良くなっている	精密機械器具製造業(経営者)	・連休中に大工場が整備を行うため、連休前の駆け込み受注が増えている。
		その他企業〔情報サービス〕(技術者)	・若干だが、情報通信系の設備投資額が上向いてきており、小規模な支出が増加している。
	変わらない	輸送業(総括)	・4月の年度変わりであっても、取扱量に大きな変化がみられない。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・4月は年度変わりでも毎年売上が減少するが、今年は特に厳しく、ここ5年間で最も売上が良くない。
	悪くなっている		
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社(営業担当)	・新規の客数が増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・年度末だけでなく、新年度に入っても派遣先企業からの求人が増加している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・毎年4月に派遣料金の改定を行っている。4月の料金値上げに応じた企業はごくわずかで、逆にカットを要求したところもある。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	求人情報誌製作会社(営業担当)	・新規採用の募集が必要であるにもかかわらず、今年度の予算が削減されたことにより、広告を出し控える企業がある。 ・増産や業務拡大の予定があり行った募集を急に取りやめる、パートを採用しても半月足らずで解雇するなどのケースがみられる。

## 東海

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない )

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	一般小売店〔土産〕(経営者)	・家族旅行の客が増加している。
	やや良くなっている	一般小売店〔生花〕(経営者)	・自家消費が増加しつつある。
		百貨店(売場主任)	・購買意欲が向上し高額品が売れ始めている。
		スーパー(店長)	・客単価の上昇傾向がみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		スーパー（店長）	・20代、30代の客数、客単価が上昇している。	
		コンビニ（エリア担当）	・来客数、売上ともに前年をやや上回っている。	
		その他専門店[雑貨]（店員）	・セントラルタワーズの波及効果が継続している。	
		乗用車販売店（従業員）	・ユーザーのニーズに応える商品の即答契約が増加しており、買い控えが収まる傾向にある。	
		乗用車販売店（従業員）	・売上が増加傾向にある。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・昨年と比べて歓送迎会や同窓会等が増加し、単価にも回復感がある。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・セントラルタワーズの開業が消費者の行動を活性化している。	
		テーマパーク（職員）	・女性客の購買意欲が戻ってきた。	
		パチンコ店（店長）	・客の遊戯時間が若干伸びている。	
		住宅販売会社（従業員）	・マンションの優良物件の成約件数が着実に増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街を歩く客数が増加していない。	
		百貨店（販売促進担当）	・婦人服の売上が回復傾向にある一方で、高級輸入ブランド品の売上が厳しい。	
		百貨店（売場主任）	・来客数が減少している。競合する名古屋駅地区の集客力アップによるものと思われる。	
		コンビニ（エリア担当）	・売上が横ばいである。	
		コンビニ（エリア担当）	・ゲーム機や使い捨て携帯電話等、話題の商品は動きがあるが、化粧品や雑貨等の売上が低迷している。	
		高級レストラン（スタッフ）	・歓送迎会等の法人予約は好調な一方で、個人客の入りやや弱い。	
		スナック（経営者）	・日によって客数の変動が著しい。	
		テーマパーク（職員）	・入場者数は増加しているものの、弁当等の持ち込みがかなり多く、全体として売上が伸びていない。	
	やや悪くなっている	百貨店（企画担当）	・パーゲン商品以外の売上が良くない。	
		百貨店（販売促進担当）	・売上の落ち込んだ商品が増えている。	
		スーパー（店長）	・買上点数が昨年より2割減っている。	
		コンビニ（店長）	・日本酒から焼酎へシフトするなど、単価の落ち込みが目立つ。	
		家電量販店（経営者）	・客数は増加しているが、単価の落ち込みの影響が大きい。	
		スナック（経営者）	・法人利用の落ち込みが大きい。	
		ゴルフ場（経営者）	・業界の値引き競争が激化し、売上が減少している。	
		住宅販売会社（従業員）	・アパートの入居率が低迷している。	
	悪くなっている	-	-	
	企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・工事発注が増加している。
		やや良くなっている	食料品製造業（企画担当）	・し好性の高い商品の売上が好調である。
			輸送業（エリア担当）	・OA機器、原材料関係の仕事量が増加している。
司法書士			・設備投資関連の案件が出始めている。	
会計事務所（所長）			・設備投資や事業拡大の案件が出始めている。	
変わらない		輸送業（エリア担当）	・貨物量に変化はない。	
		経営コンサルタント	・土地の取引が活発化していない。	
やや悪くなっている		新聞販売店[広告]（店主）	・チラシが安い紙質や白黒に変更されてきている。 ・企業の新聞購読が伸び悩んでいる。	
		輸送業（従業員）	・例年より荷動きが低調になっている。	
悪くなっている		-	-	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌制作会社 (編集者)	・新卒採用のニーズや自動車メーカーによる期間工の募集が増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・企業から派遣社員を正社員にしたいという依頼が始めている。 ・正社員の採用を考えている企業が多い。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	・求人数が引き続き増加している。 ・労働者の確保を最重要視する企業が出始めている。
	変わらない		
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

### 近畿

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	都市型ホテル(スタッフ)	・宿泊部門の売上が増加しており、売上実績が見込みを上回っている。
		その他住宅[展示場] (従業員)	・住宅展示場の来場者数がかなり増加している。 ・セミナーで客の態度が真剣である。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・人出が多くなっている。
		商店街(代表者)	・クレジットカード利用の売上が増加している。
		百貨店(売場主任)	・地方からの観光客の来店が増加している。
		コンビニ(店長)	・子どもの消費金額が増加している。
		コンビニ(経営者)	・客数が増加している。
		その他専門店[薬] (経営者)	・必要なものは少々高価でも売れるようになっている。
		その他専門店[時計] (経営者)	・価格には厳しいが、全体に何かを買いたいという気持ちで来店する客が増加している。
		一般レストラン(スタッフ)	・客単価は低下しているが、来客数が増加している。
		観光型旅館(経営者)	・来客数が増加し、レストラン、売店等の売上が伸びている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・宿泊、宴会、レストランとも個人客が増加している。
	テーマパーク(職員)	・客単価が上昇している。	
	変わらない	商店街(代表者)	・相変わらず1つの物が売れるのに時間がかかる。
		百貨店(売場主任)	・今必要なもの、価格的に魅力のある商品しか売れない状況は変わらない。
		スーパー(経理担当)	・依然、客単価が低く、買上点数も少ない。
		その他専門店[宝石] (経営者)	・来客数、客単価、広告に対する反応とも変わらない。
		高級レストラン(店長)	・客単価の低いランチでさえも、客数の低迷が続いている。
		スナック(経営者)	・店が相変わらずひまである。
		都市型ホテル(スタッフ)	・食堂の売上は若干増加しているが、宿泊は余り改善していない。
		タクシー運転手	・客待ちの空車の列が長い状況が続いている。
	やや悪くなっている	コンビニ(エリア担当)	・客単価が3か月前と比べると約4%低下している。
		一般レストラン(スタッフ)	・低料金の店にだけ客が集まっている。
		観光名所(経理担当)	・来客数が落ち込んでいる。
		美容室(経営者)	・客から景気の良い話を聞かない。 ・客の回転がやや悪化している。
	悪くなっている	商店街(代表者)	・日曜、祝日の人通りが全くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
企業 動向 関連	良くなっている	広告代理店（営業担当）	・通常4月は年度末に比べ売上が減少するが、今年は変わりなく進んでおり良い状況である。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・受注がかなり増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・業界内において勝組、負組の区分けがはっきりしてきたが、勝組が全体のムードを明るくしている。
		その他製造業[紙加工品]（経営者）	・小口が多いながら受注件数がやや増加している。
		広告代理店（従業員）	・IT関連やホームページの制作などニューメディアに関わる受注が増加している。
		新聞販売店[広告]（店主）	・折込広告が増加しつつある。
		経営コンサルタント	・若干の受注増大、売上増大がみられるコンサルティング先が増加している。
	変わらない	その他企業[ネジ]（団体役員）	・出荷額は横ばいであるが、生産数量は確実に増加している。
		輸送業（営業所長） 会計事務所（職員）	・売上が余り変わらない。 ・不動産等の取引が不活発な状況が変わらない。
	やや悪くなっている	その他製造業[金属製品]（経営者）	・荷動きがやや悪化している。
		司法書士	・受託件数が減少している。 ・企業の縮小、解散に関する業務が増加している。
		その他企業[タオル]（団体職員）	・受注数量が激減している。
悪くなっている	繊維工業（経営者）	・大手の間屋が今月倒産し、各メーカーに不安が広がっている。	
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・正社員を採用する事前段階として派遣社員の導入を考える企業が増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・企業からの派遣依頼が、増加傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	・中小企業からの人材派遣需要が増大している。
		求人情報誌制作会社（編集者）	・相変わらずアルバイトなどの臨時雇用を中心に求人情数が増加基調にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・新規の受注が増加している一方、これまでの契約の延長については減少しており、全体として変わらない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

## 九州

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィークの曜日の配列が良いことから、国内、海外ともに旅行需要が好調であるばかりでなく、ゴールデンウィークに入ってから問い合わせが多い。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・商店街の活気が戻りつつあり、売上が良いとする店舗も増加し始めている。
		百貨店（販売促進担当）	・ミセス向け婦人服、美術・宝飾等の高額品が上向いてきた。 ・4月は天候、気温の影響もあるが、上旬は好調、中旬は中だるみ、下旬はゴールデンウィーク直前から好調に転じた。
		スーパー（店長）	・駐車場の利用客が増え、行楽向けの支出も増えている。
		コンビニ（店長）	・週末の客数が増加してきており、人の動きが活発化してきている。
		家電量販店（企画担当）	・ノートパソコンを中心に良く売れている。 ・住宅関連の家電も売れている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・登録台数が若干上向いている。
		高級レストラン（スタッフ）	・飲食店に予約なしのフリーの客が増えている。 ・コンベンションが開催され、単価も上昇している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・徐々に客の入り为上向いてきている。
		ゴルフ場（従業員）	・客数が着実に増加してきており、多少は財布のひもが緩みつつある。
		パチンコ店（従業員）	・4月前半はさえなかったが、後半は客の入りも良くなってきている。
		旅行代理店（従業員）	・年初のY2K問題による旅行控えの反動が出てきている。
		住宅販売会社（従業員）	・建築申込件数が公務員関係を中心に増加している。
	変わらない	スーパー（営業担当）	・むだな消費を避けるため、メモ用紙に今日のメニューを控えて買物に来る客が増えている。
		家電量販店（店員）	・相変わらず必需品しか売れず、単価も低迷したままである。
		高級レストラン（スタッフ）	・予想よりも観光客の利用が少ない。
		テーマパーク（職員）	・フラワーフェスタでにぎわってはいるが、直接消費に結びついていない。
		ゴルフ場（従業員）	・ゴルフ場の入場者数は相変わらず低迷しており、物品購入費も伸びない。
		タクシー運転手	・タクシーチケット枚数が減っている。 ・客から明るい話も聞かない。
		住宅販売会社（従業員）	・受注は若干上向いた程度で、ほぼ横ばいのままである。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・大型店の倒産や移転等で中心街に人が少ない。
		衣料品専門店（総務担当）	・売れる物をそろえるようにしているが、来客数も売上も減少している。
		一般レストラン（スタッフ）	・季節的にもう少し人の動きがあると期待していたが、期待ほどではなかった。
		パチンコ店（従業員）	・客単価が低下している。
		タクシー運転手	・宮崎では国際会議である島サミットが開催されたにもかかわらず、人の動きは極めて鈍い。
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連はここ3か月非常に忙しい。各企業からの受注も上向いてきている。
		精密機械器具製造業（経営者）	・新規顧客からの受注引き合いが増え、また既存客からの受注も若干多くなってきている。
		その他製造業[窯業土石製品]（経営者）	・コンクリート製品の販売については、官公需がピークに達している。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・受注金額が増加し、前期の仕込み分が現実の受注につながっている。 ・客の多くも、景気は良くなっていると言明している。
		広告代理店（従業員）	・前年に比べて20%売上が伸びている。 ・日蘭交流400年のイベント等で盛り上がっている。
		輸送業[陸上貨物]（従業員）	・自社でさばけないものを下請に回すが、下請でもさばききれないほど、物流が盛んになってきている。
		経営コンサルタント	・仕事の話が客から持ち込まれるケースが増えている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・通信販売で非常に悪い状況が続いている。特にビール等の飲料が悪い。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・客数の減少に伴って、売上高も減少している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・主要得意先の1つが業種転換を行ったために、仕事の受注量が非常に減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・求人数は着実に増加してきている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・通信教育による自己啓発の事業が低迷してきている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・営業職、IT関連、福祉関連の人材派遣ニーズは高まっているが、新卒の採用は相変わらず低調なままである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数自体は増加しているが、4月は節目の月であり、季節的要因が大きいためである。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

## 2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

### (1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	51.1	54.6	54.9	55.5		
家計動向関連	49.4	53.2	53.8	53.5		
小売関連	49.7	52.7	53.3	53.1		
飲食関連	45.8	53.1	52.6	52.2		
サービス関連	50.9	54.0	54.9	53.9		
企業動向関連	52.3	55.8	53.8	58.5		
雇用関連	61.9	55.8	67.2	66.1		

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

### (2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I (各分野計)

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	51.1	54.6	54.9	55.5		
北海道	49.0	53.5	52.0	46.0		
東北	51.6	56.0	54.6	57.2		
関東		53.5	52.5	57.2		
東海	54.5	54.1	60.3	59.7		
近畿	51.1	54.7	54.4	57.5		
九州	49.2	55.5	55.3	55.6		

地域別の景気の先行き判断D I (家計動向関連)

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	49.4	53.2	53.8	53.5		
北海道	46.2	51.1	50.0	42.7		
東北	50.4	53.4	53.5	54.6		
関東		51.1	50.8	57.2		
東海	53.4	53.5	59.2	56.6		
近畿	48.8	53.8	54.2	56.7		
九州	48.2	56.5	54.5	53.4		



### (3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

#### 北海道

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・ 中心街の人出が増加している。
		高級レストラン（スタッフ）	・ 客数が徐々に増えており、単価も上昇してきている。
		高級レストラン（スタッフ）	・ レストランを貸し切る結婚式の予約が順調である。
		高級レストラン（経営者）	・ 今後、観光シーズンに入るので少し期待ができる。消費も多少上向いている感じがする。
		美容室（経営者）	・ 客の会話の中で、旅行や買物などの明るい話題が増えている。
	変わらない	百貨店（売場主任）	・ ヤング向けの商品は従来に引き続き好調だが、その他の商品は依然として慎重な買い方が続いている。
		スーパー（店長）	・ 食品関連の動きは良いが、衣料品や雑貨の動きに回復がみられず、全体としては変わらない方向だと思う。
		衣料品専門店（店長）	・ 商品単価が下がっているが、来店客数は増加傾向が続いており、全体としては変わらない。
		家電量販店（店長）	・ 客の商品購入の決断に時間がかかっている。
		乗用車販売店（従業員）	・ 客から良い話を聞かないので、変わらない状態が続く。
		旅行代理店（従業員）	・ 法人需要は手控えられているが、個人需要は比較的おう盛である。ただし、有珠山噴火によって、先行きは不透明である。
		住宅販売会社（従業員）	・ 人の動きはやや活発になってきているが、全体的にみると変わる要素がない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・ 有珠山噴火で、観光客の減少が予測される。
		百貨店（売場主任）	・ ヤング、フレッシュャーズ商品の売行きが悪い。
		高級レストラン（スタッフ）	・ 都市部では有珠山噴火の影響は今のところないが、今後は出てくると思う。
		旅行代理店（従業員）	・ 有珠山噴火の影響がある。
		タクシー運転手	・ 有珠山噴火が長期化すると、北海道観光に大打撃を与え、観光客数が減少する。
	悪くなっている	コンビニ（エリア担当）	・ 雪が多かったため雪解けが遅く、客の出足が悪くなっている。
		一般レストラン（スタッフ）	・ 今夏の団体観光客の入り込みがかなり減少すると思われる。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	非製造業[建設機械リース]（営業担当）	・ 公共投資の波及効果が現れてくる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・ 従来、不況でも消費が減少しないといわれた食品産業だが、今回の不況では売上が低調に推移している。
		非製造業[建設機械リース]（従業員）	・ 設備投資意欲が低調なままで、変化の兆しがみられない。
		輸送業（支店長）	・ 今月は本州の上昇傾向に引っ張られた。今後も物流量、単価ともにしばらくこの状態が続くと思われる。
	やや悪くなっている	司法書士	・ 地場産業で倒産が相次いでいることによるイメージダウンから、買ったたき、貸し渋りが増えている。
悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・ボリュームゾーンである建設業界での求人が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・全業種で求人数が増えており、正社員の需要も増加している。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・大型ショッピングセンターの進出もあり、千人規模の新規雇用が発生する。
	変わらない		
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・観光業界で夏の旅行予約が減少していることから、派遣社員の契約更新や時給アップの見込みがない。

## 東北

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連	良くなっている	高級レストラン（スタッフ）	・個人需要も法人需要も非常に活発になってきている。	
		タクシー運転手	・客を乗せる回数やタクシーチケットを利用する客が増加している。 ・繁華街は平日は変わらないが、金曜日には夜遅くまでにぎわっているようである。	
	やや良くなっている	百貨店（広報担当）	・中元商戦や夏物のクリアランスセールがあり、短期的には期待できる。	
		百貨店（売場主任）	・客数が増加しており、今後、売上減少の原因である客単価の低下が解消されていけば景気は回復する。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・展示会、結婚式などの1件当たりの人数や客単価は減少しているが、件数の増加により売上が伸びている。	
	変わらない	百貨店（売場主任）	・2～4月は天候による影響が大きく、全体として景気回復はまだ実感できない。	
		スーパー（店長）	・食料品は安定した売上が見込める分野といわれているが、前年割れとなっているスーパーが多く、この傾向はしばらく続く。	
		高級レストラン（スタッフ）	・個人需要は活発だが、接待等の法人需要は鈍く、全体としては変わらない。	
		観光型ホテル（経営者）	・4月に入り予約が小休止の状態となっており、6月は総選挙のせい予約数が伸びない。7月以降は微増で、全体としては横ばいで推移している。	
	やや悪くなっている	タクシー運転手	・まだまだ客の乗り控えがみられる。	
		スーパー（従業員）	・客から介護保険で負担が増えた、リストラされたなどという話をよく聞く。	
		悪くなっている	旅行代理店（従業員）	・個人消費においては、連休中に消費した分、5月以降は節約していくと考えられる。
	企業動向 関連	良くなっている	コンビニ（エリア担当）	・客単価が低下している。 ・今後も、客は必要以上の買物をしないと考えられる。
やや良くなっている		-	-	
		食料品製造業（従業員）	・観光客が増加しており、土産品等の消費が上向けば生産増が期待できる。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注増に生産が間に合わなくなっており、景気が良くなっている傾向がみられる。	
変わらない		輸送業[航空貨物]（従業員）	・良くなっている業界と変わらない業界に分かれている。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（従業員）	・年度末の需要も一段落し、夏は官公庁からの受注も少なくなる時期であるため、やや悪くなると予想される。		
	悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・客から人員増の相談が増えてきている。
		新聞社[求人広告](担当者)	・公共関係の発注が期待できる。
	変わらない		
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

## 関東

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	一般小売店[食品](経営者)	・時期的なものもあるが、ギフトシーズンとなるため、売上が増加する。
		百貨店(買付担当)	・昨年に比べて購買意欲が高く、来客数も増加している。 ・今年の夏は例年と比べて暑いとの予想もあり、衣料品の売上が増加する。
		スーパー(総括)	・消費は少しずつ伸びている。食品に続き、衣料品にも回復基調がみられるので、全体の押上につながる。
		一般レストラン(経営者)	・来客数、ケータリング件数が増加している。
		その他サービス[語学学校](営業担当)	・ボーナス時期になるので、消費意欲が高まり、消費支出は増加する。
		住宅販売(営業担当)	・住宅金融公庫の融資は6月末まで受付ているので、その頃には良くなっている。
	変わらない	百貨店(販売促進担当)	・婦人服、宝石等は前年水準まで売上が増加してきているが、紳士服は低迷しており、一進一退が続くものと予想される。
		スーパー(店長)	・買上点数は増加しているが、単価が低下しており、全体として売上が増加しない。
		コンビニ(店長)	・引き続き財布のひもは緩まず、必要なものを買うにとどまるであろうが、気温の微妙な変化に店が対応できれば多少の売上増は期待できる。
		高級レストラン(副支配人)	・受注は微増しているが、景気が良くなっているとまではいえない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・今後の予約状況をみても極端な好転は予想できない。
		旅行代理店(従業員)	・4～5月は総会、役員会の時期で人の移動が活発化するが、決算期でもあるので、移動を控えるというマイナスの要因もあり、余り変わらない。
やや悪くなっている			
悪くなっている			
企業動向 関連	良くなっている	その他企業[情報サービス](従業員)	・今まで未開拓だった、eコマースや金融システムの構築など、営業を行わなくても受注が出てきている。新規引き合いが大変に多く、景気は良いと感じる。
	やや良くなっている	広告代理店(従業員)	・小売業者から販売を目的としたチラシ等の印刷物が少しずつ増加している。
		その他企業[リース](営業)	・今までの業態から、今求められている仕事へ業態を変更する企業が増加しており、その変更に伴った設備投資がリースを通じて増加している。
	変わらない	その他製造業[プラスチック製品](経営者)	・新年度に入ったにもかかわらず、例年のような動きが感じられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		非製造業〔廃棄物処理〕(経営者)	・受注量が増加しても、単価は相変わらず低下傾向にある。 ・設備投資を控える傾向は変わらない。
		その他企業〔ディスプレイ業〕(経営者)	・現状では景気はそれほど際立って上向いていない。好転には今しばらく時間がかかると思う。
	やや悪くなっている	食料品製造業(経営者)	・法人客の中元需要が見込めない。
	広告代理店(従業員)	・従来競争相手ではなかった企業とも競争が激しくなってきた。厳しい状況が続いている。	
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・企業からの求人は増加するが、適切な派遣スタッフとのマッチングがうまくいかないことがある。非常に仕事が多い証拠である。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・新年度の展開が例年に比べスローテンポである。2～3か月後には、今月の遅れを取り戻し、景気が良くなる。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・業界によっては、新たな人材を採用しなければ業務が停滞しかねない企業も出てきている。しかし、いまだに退職社員の補充程度の新規採用にとどめるなど、現状維持の企業がほとんどである。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	

## 東海

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・高額商品に動きが始め、購買意欲が上向きつつある。
		スーパー(店長)	・クリーニング、花、酒など、食料品以外の売上が増加傾向にある。
		乗用車販売店(従業員)	・個人の買い控えも限度と思われるので、夏のボーナスを契機に買い替え需要が期待される。
		乗用車販売店(従業員)	・来客数が増加傾向にあるため、商品が充実していれば受注が伸びると期待される。
		乗用車販売店(従業員)	・今後の新商品等に期待がある。
		乗用車販売店(従業員)	・高額商品が売れ始め、今後期待が持てる。
		高級レストラン(スタッフ)	・予約状況が好調である。
		一般レストラン(スタッフ)	・歓送迎会等の予約が引き続き多く、客単価の上昇も見込まれる。
		観光型ホテル(スタッフ)	・宿泊、宴会、レストランのそれぞれの予約状況が数パーセント伸びており、明るい兆しが感じられる。
		テーマパーク(職員)	・昨年から継続して入場者数が増加しており、今後にも期待が持てる。
		旅行代理店(従業員)	・海外旅行が好調で、パスポートの申請者も増加している。
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕(エリア担当)	・設備の切り替え時期にきており、設備投資が増加すると見込まれる。
		住宅販売会社(従業員)	・仕事が忙しくなってきたと話す客が増加している。
変わらない	百貨店(販売促進担当)	・各部門で一進一退の状況が長く続いており、今後も大きな変化があるとは思えない。	
	スーパー(店長)	・一部でやや動きがある一方で、進物の売上が低迷しており、全体として大きな変化があるとは判断できない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・無駄遣いしない状況はまだ続くと思われる。
		その他専門店[玩具]（店員）	・無駄遣いしない計画的な購買行動はまだ続くと思われる。
		スナック（経営者）	・法人利用が見込めない状況は続くと思われる。
		テーマパーク（職員）	・節約型で無駄遣いしない傾向は続くと思われる。
		パチンコ店（経営者）	・所得が増加する要素が見当たらないため、現在の状況は続くと思われる。
		設計事務所（職員）	・個人住宅等の予約が低迷している。
	やや悪くなっている	一般小売店[土産]（営業幹部）	・総選挙が予想されるが、選挙中は人出が減るなど流通業界には通例マイナスの影響が出るため、厳しくなると想定される。
		コンビニ（店長）	・単価の低迷が続くと予想される。
		家電量販店（経営者）	・単価の低迷が続くと予想される。
悪くなっている	-	-	
企業動向関連	良くなっている	税理士	・法人の業績の向上が徐々に中小企業に移ってきている。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・仕事量が増加しており、先行きは明るい期待される。
		その他製造業[プラスチック製品]	・自動車、住宅部品の新規商品の見積依頼や受注見込みが増加している。
		司法書士	・製造業の状況が良くなっている。
		会計事務所（所長）	・設備投資や事業拡大の案件が出始めている。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・貨物量が増加している一方で、単価の低下も大きく、全体として先行きの判断がしづらくなっている。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている		
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・新規プロジェクトに向けた派遣社員の需要が増えている。
		人材派遣会社（社員）	・派遣社員の需要が引き続き良い。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・今年新卒採用をしなかった企業が、来春の新卒採用を再開している。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・全体としてやや良くなっている一方で、単価の低迷が気がかりである。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

## 近畿

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	その他住宅[展示場]（従業員）	・住宅展示場の来場者数が増加しており、今後も大型住宅減税と住宅金融公庫の低金利によって増加する。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・クレジットカード利用の売上が増加している。
		百貨店（売場主任）	・高額品のゾーンは順調に推移している。 ・大変厳しかったヤングのゾーンに少し動きが出てきており、カジュアルなども少しずつだが、回復に向かっている。
		スーパー（経理担当）	・客数は増加傾向にある。
		衣料品専門店（店員）	・高額品が動いている。
		その他専門店[薬]（経営者）	・健康志向の高まりから関連商品の売上が増加する。
		スナック（経営者）	・店で客の様子に明るさを感じる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・淡路花博開催の影響で宿泊の先行予約が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		観光名所（経理担当）	・客数が増加している。	
		テーマパーク（職員）	・コンベンション、宿泊の予約が順調に推移している。	
		旅行代理店（営業担当）	・相変わらず低価格の商品が売れているなかで、高級旅館やクルーズ、ビジネスクラス利用の海外旅行商品が熟年層を中心に増加し始めている。	
	変わらない	商店街（代表者）	・客は商品吟味が厳しく、相変わらず財布のひもはかたい。	
		百貨店（売場主任）	・美術工芸、宝石等の高額品に対する消費には回復の兆しがみられるが、全体的には必要以外の物は買わない。	
		家電量販店（店員）	・新製品の発売等があれば売上は増加するが、現状では変わらない。	
		一般レストラン（スタッフ）	・予約状況が余り変わらない。	
		スナック（経営者）	・来客数にむらが多く、安定しない状況が変わらない。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約の受注状況が余り変化していない。	
		タクシー運転手	・平日は深夜12時までに早々と灯を落とす飲食店が多い。	
	やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・住宅の受注量が今後増大するとは思えない。	
		その他住宅[情報誌]（編集者）	・住宅業界は金利に大きく左右されるが、金利は余り変化しないと予想される。	
	企業動向関連	悪くなっている	コンビニ（エリア担当）	・都心のビルの空きが多くなり、昼食需要が減り、更に競争が激しくなっている。
良くなっている		百貨店（売場主任）	・雇用不安が解消されていない。	
		広告代理店（営業担当）	・7～8月までテレビスポットが非常に好調で、売り止めになっている。	
やや良くなっている		輸送業（営業所長）	・ネットビジネス等に力を入れている得意先がある。ネットビジネスによって物流が動き始めている。	
		経営コンサルタント	・今後、更に設備投資が活発になり、受注もわずかながら上向く。	
変わらない		その他製造業[紙加工品]（経営者）	・受注件数はやや増加しているが、材料の値上げによって利益は変わらない。	
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・ユーザーの購買力が相変わらず横ばいで推移している。	
やや悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	・商談件数、受注残が減少気味である。	
悪くなっている		繊維工業（経営者）	・民事再生法になり、各銀行の企業に対する評価がかなり厳しくなっているため、中小企業の倒産が増加する。	
雇用関連		良くなっている	人材派遣会社（社員）	・昨年の不況のために、4月に正社員を採用しなかった企業についても、業容拡大に伴う需要増が見込まれる。
		やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・IT関連の注文が徐々に増加している。
			人材派遣会社（経営者）	・積極的な設備投資を展開し始める企業が見られ、事務職を積極的に増員する企業も増加している。
		変わらない		
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	

## 九州

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	家電量販店（企画担当）	・長期天気予報も今年は暑いということであり、売行きは良い。賞与も普通のようなものである。
		観光型ホテル（スタッフ）	・大型団体に加え、個人客の予約も順調に入ってきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・人の動きが活発になり、消費支出も回復しつつある。このまま推移すれば着実に良くなっていく。	
		百貨店（販売促進担当）	・紳士服は相変わらずさえないが、春先からのファッショントレンドの変化が今後も続く。	
		スーパー（店長）	・健康に関する商品の売上が上向いている。 ・紳士向けのカジュアル製品が良くなってきた。	
		乗用車販売店（従業員）	・これまで買い控えてきた顧客が多く、また、メーカーも低価格帯の車種に力を入れ始めていることから、夏のボーナス時期にはかなり期待できる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・サミット関連の催しで客の動きが活発になるなどから、宿泊客数も増加する。	
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・県外からの注文はあるが、地元では厳しい。口蹄疫の事件もあったため、先行きが不安である。	
		スーパー（店長）	・IT関係は非常に良いが、衣料品は悪く、平均すれば余り変わらない。	
		コンビニ（店長）	・近所には閉店するところもあれば、新規オープンするところもある。この状況はしばらく続きそうである。	
		高級レストラン（スタッフ）	・団体の予約はますますだが、個人の観光客の低価格志向は変わっていない。	
		ゴルフ場（支配人）	・予約状況を見ると、相変わらずさえない。土日、祭日も少ない状況が続いている。	
		競輪場（職員）	・介護保険料の徴収が始まったことから、ギャンブルに回す資金は減ってきていると思う。	
		旅行代理店（従業員）	・Y2K問題の反動はゴールデンウィークで出尽くし、今後は元の状況に戻るだろう。	
		設計事務所（職員）	・テナントビルの建設希望者は、需要を把握しきれない様子で、契約をためらっている。	
		住宅販売会社（従業員）	・今後の金利の先高観で、今のところ住宅の受注が増加しているが、客は金利に敏感であることから、先行きは楽観できない。 ・ほとんどの客が慎重になっており、商談がなかなか成立しない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・郊外に大型店ができる予定になっており、商店街は苦しい状況にある。	
		衣料品専門店（総務担当）	・中央では一部景気は上向きと聞いているが、地方では購買力の上昇を感じない。商店街も閉店や撤退が続いている。	
		一般レストラン（スタッフ）	・客数、客単価とも低下しており、この傾向が続く。	
		パチンコ店（従業員）	・売上が上向き気配がない。	
		悪くなっている	-	-
	企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体はこれからも上昇気流に乗り、特に液晶関係、ロードフレームの仕事量が増える。
やや良くなっている		農林水産業（経営者）	・景気回復がささやかれるなか、製造業はかなり期待できる。全般に消費が増え、景気にカツが入るのは間違いないと思われる。	
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・例年、年度末は受注減となるが、今年はそれほど減少していない。	
		広告代理店（従業員）	・月ごとのばらつきが小さくなり、安定した売上を示すようになってきた。	
		経営コンサルタント	・コンサルの仕事が客から持ち込まれるケースが多く、この状況はしばらく続きそうな気配である。	
変わらない		食料品製造業（経営者）	・依然として民間企業は支出面での引き締めを緩めていない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在が非常に良い状況なので、これ以上良い状況は考えられない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業[陸上貨物] (従業員)	・客足が増えても客単価が低下しているので、全体としては変わらない。
	やや悪くなっている	その他製造業[窯業 土石製品](経営者)	・現在ピークの状態にあるが、今後は徐々に低下してくる。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・企業の人事担当者から来年の採用人員を増やすという話を聞くことから、景気は上向いてきている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・4月はキャンペーン需要で求人が多かったが、これから先は特に増える要因がない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・今のところ良くなる要因が見当たらない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-



## (参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	32.0	37.0	46.1	46.0		
家計動向関連	29.7	34.9	43.6	42.7		
小売関連	29.2	37.0	40.8	41.6		
飲食関連	28.6	31.1	45.7	37.5		
サービス関連	31.1	33.5	46.6	45.4		
企業動向関連	33.6	39.1	48.5	53.4		
雇用関連	47.0	50.5	60.9	57.8		

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	32.0	37.0	46.1	46.0		
北海道	31.5	36.6	40.0	36.8		
東北	26.6	36.5	43.6	45.4		
関東		33.1	46.4	45.6		
東海	40.8	41.8	52.0	48.5		
近畿	27.2	33.6	41.9	47.8		
九州	33.2	40.4	52.6	53.1		

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方向性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車、自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所、遊園地、テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス業店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位：人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%